

ワクチン接種について

現在日本では様々な種類のワクチンがあります。生ワクチン、不活化ワクチンが一般的ですが、新型コロナウイルス感染症で話題となった核酸ワクチン（mRNA ワクチン）もあります。そもそもワクチンとは人の免疫反応を活性化し、病原体に対して抵抗力のある体にする働きを持つものです。ワクチンを接種することにより接種した人の体を守るだけでなく、多くの人が接種することでその病気を社会に広げないようにするという役割もあります。しかし一方で他のお薬と同じようにワクチン接種による健康被害（＝有害事象）が起こることもあります。国はその報告に基づき定期的にワクチンの安全性をチェックし、同時に健康被害に対する救済制度が設けられています。ワクチン接種を受ける際にはその有効性や副反応等について十分理解した上で接種するかどうかを判断することが重要です。

医師会はこれからも住民の皆さんの健康を守る観点から、科学的根拠に基づいたワクチンの有効性や安全性を判断しながらワクチン接種を行って参ります。

一般社団法人喜多方医師会